



こどもみらい館開館20周年記念冊子

絵本の森からの贈りもの



アンケートに御協力をいただきありがとうございました。



保育の中で大切にしておられる本、子どもと共に楽しんでおられる本、先生方の思いがいっぱい詰まった冊子になりました。

園からも応募をいただきました**手作り絵本コンクール**
上位作品も紹介しています。

新たに研修DVDを作成しました

「新しい生活様式」が提案され、研修に参加する機会が少なくなっている今、少しでも学ぶ機会を提案したいと考え、今回、中止となった第4回共同機構研修会に代わり、研修DVDを作成しました。

困りを持つ子どもとその保護者への支援

— 災害時に大切な心のケアの基本を含めて —

講師 坂本 理 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館事業課担当係長(相談)
(公認心理師・社会福祉士)

- ◇ 新型コロナウイルス感染症における心のケアの基本について
- ◇ どんな時でも不可欠な発達障がいを持つ子や保護者支援で特に大切な意味と見通しが伝わることについて

この2つの内容について、講義いただきました。

内容を一部紹介します。

未知のウイルス、それは絶対に気を緩めてはいけない相手です。しかし、決して何も手がかりがないものではありません。密室・密集・密接を作らない、ソーシャルディスタンスを取る、換気をする、手洗いをまめにする、顔を触らない等、今は直接治す薬がなくても、闘う手段はあります。そして、ウイルスが嫌がる最高の感染症対策は、皆が具体的にやれることをやりながら、笑顔を忘れないことです。

災害時のような普段と違うことが起こったとき、様々なストレス反応を現す子どもたちに、私たちはどのように関わったら良いのでしょうか。まずは、異常な状態への正常な反応だと大人自身が知っておくこと、そして大人が落ち着いて振舞うことです。子どもに限らず、人は話を聞いてもらうだけで心の負担が大きく変わります。また、いつもよりスキンシップを必要とする子どももいます。難しく考えずに子どもと一緒に手遊び歌をする等、普段より意識することで子どもの安心につながります。また、ごっこ遊びとして災害を再演することへの理解も大切です。非常に感動した音楽を繰り返し聞くことで感動が段々薄れていくことと同じメカニズムで、見ている大人はイライラすることもあります。子どもの心のケアには大切です。

困りを持つ子どもや保護者への支援にあたって大切なことは、「意味」と「見通し」が伝わること、そして固定観念にこだわらずに「いろいろ工夫すること」です。「困りを持つ子どもあるいは保護者」は、少なからずこの「意味」と「見通し」を失っている状態です。そこを把握できるように支援することが、一番根底の押さえどころになります。そのためには、発達段階に応じて、視覚的、具体的、肯定的に伝えることが有効です。また、褒めることは行動強化の視点だけでなく、関係性や人格の成長のためにも必要です。発達障がいだからと決めつけず、現実を丁寧に見ながら創意工夫すること、そして個々の子どもは可能性の塊であることを忘れてはいけません。

DVDの貸出を行っています。「DVD貸出」⇒「利用方法」をお読みのうえ、
まずはお電話にて御予約ください。

研修DVD作成第2弾もただいま準備中です。

他の共同機構研修DVDも含め、御利用お待ちしております。



子どもを育む喜びを感じ、
親も育ち学べる取組を進めます。

[京都市はぐくみ憲章]より



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ！



発行日 令和2年8月20日
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1
Tel : (075)254-5001 Fax : (075)212-9909
URL : <https://www.kodomomirai.city.kyoto.lg.jp/>